

平成 28 年

消防団たずね歩き

「安全と安心をライフスタイルに」

阪神淡路大震災の朝、東の空に火災による黒煙が巨大雲のように上った光景は未だ忘れられません。

私たちが管轄する若宮区域内は、大きな火災こそなかったものの倒壊した家屋によって死傷者が発生しました。震災の影響で自宅で暮らせなくなった多くの住民は冬の寒い中、小中学校等に避難し不安な面持ちで被災生活を過ごしました。

20 年余りが過ぎた今、世代は変わり当時を知っている市民は 5 割に満たないといわれています。その中で地域直結の消防団の使命は決して小さくありません。



私たちの活動は、災害時の出動はもちろん震災の教訓を伝える為、地元住民への防災意識の啓発に重点を置いています。消防署、若宮防災福祉コミュニティ並びに各方面の協力を仰ぎ、小学校での防災訓練指導、地域の高層マンションでは避難訓練支援を行い、そして救急指導の為

に団員が意欲的に救急インストラクター資格取得に励んでいます。今のところの課題としては管轄区域が須磨海岸に隣接し国道 2 号線沿いは海拔も低いことから、東日本大震災を教訓に南海トラフ地震の津波を想定した対応策を検討中です。

しかし、あらゆる災害の発生や被害を未然に防ぐことは私ども消防団だけでは困難です。そのためには、より多くの地域の皆様に防災への関心を持っていただき、安全かつ安心して過ごせる毎日に繋がるよう地域との連携強化を目指していきます。

また、地域で開催されるお祭りなど行事イベントでは、警護活動もしておりますので、よろしければ、お声掛けください。



(須磨消防団 第 4 分団 一同)